

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

特256
648

500
30

大 伯
解國鼎
索 跡

(3)

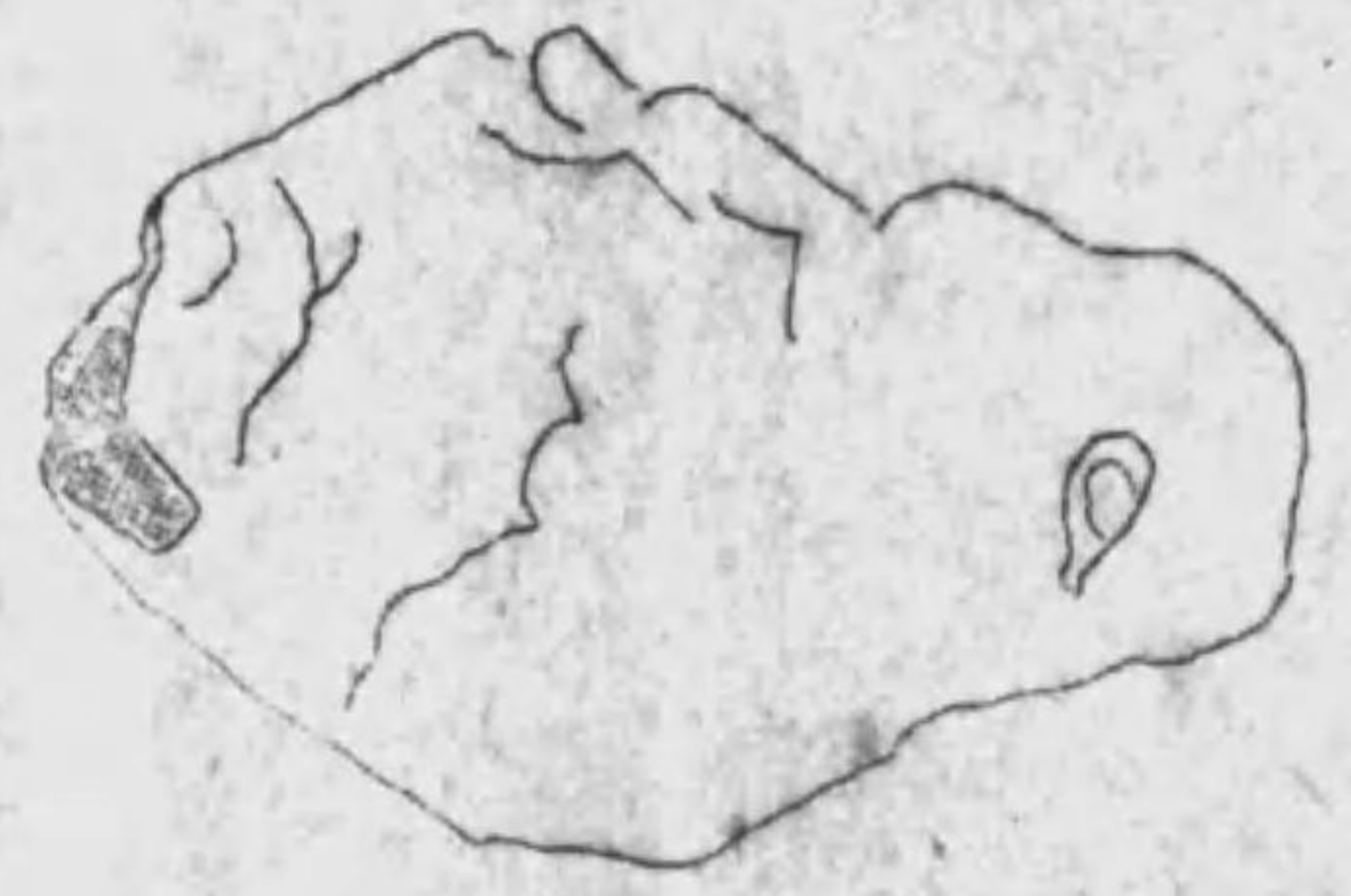
台形顔 惠 器



明 面



右 正 面



左 正 面

長 廣 村 寒 風 5148 出 土
宗 時 勇 一 氏 藏 品
魚 形 頭 畫 鏡



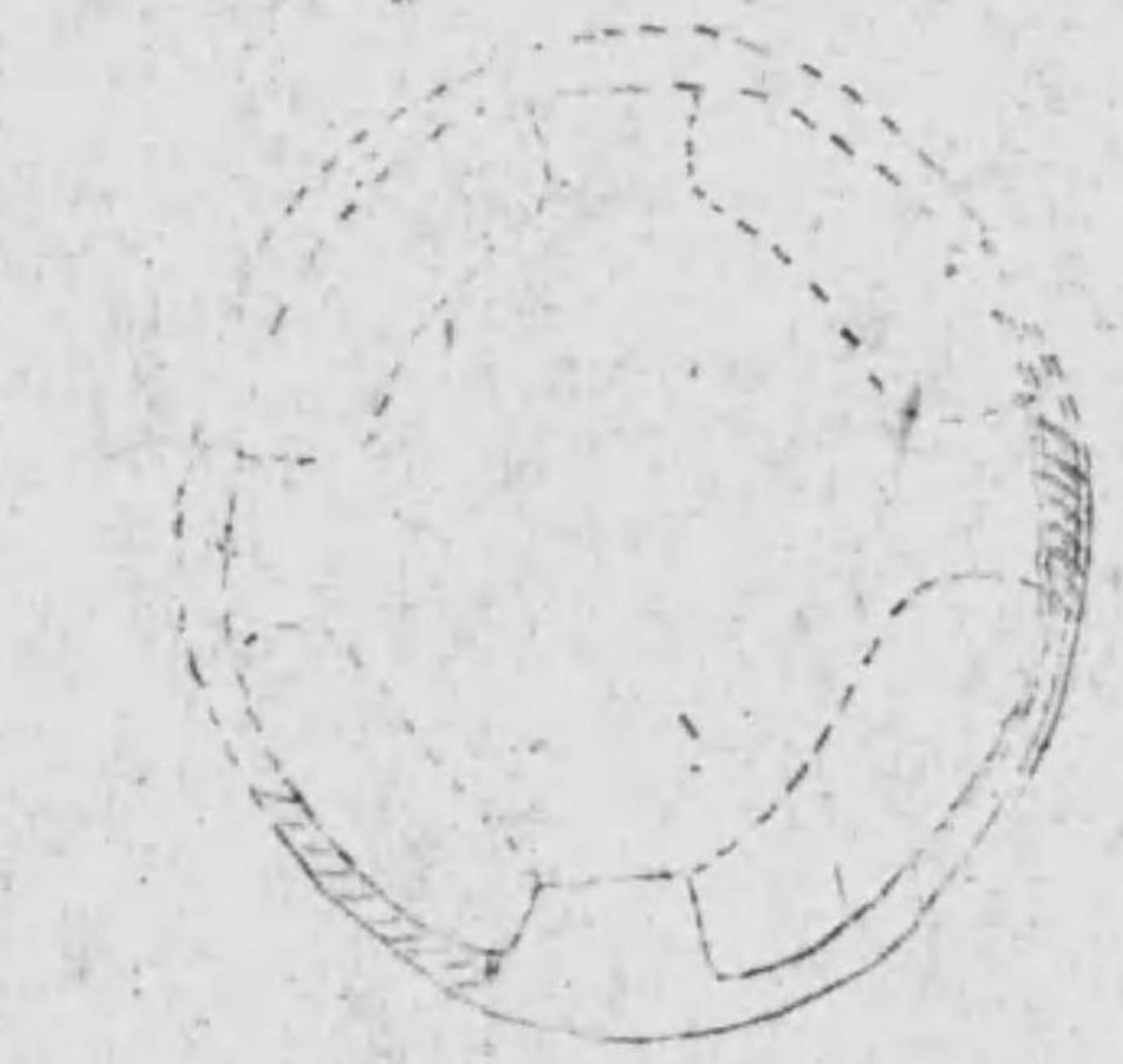
拝啓 貴書正に拝誦仕候 益々御勇健の段 奉賀上候 却説御尋ぬ
相成候 イツベの件 水原氏 宅にて拝見の際 夕イツベを焼く時の台に使
用せしならんと申置候 朝鮮にては 新羅焼 (イツベ) の窯跡 極く稀にして 慶
南にては 釜山より北 四里の山向にて 小生 発見のものある位にて候 その窯跡
にては 台と思はるゝものを 発見不致候も 高麗焼 窯跡にて 此に類するもの
を見受け候 次第にて 御座候 針様のものを 無数に立て、又へし 事は 穴の
全形が 円をなせる事と 又一つに 窯跡より 出でし 事とに 似り 其の如く 相像せし
の 中に 候 (中畧) 御兩暇 一度 御末遊の 程 待入申候 敬 具
九月十四日 (昭和十年) 流 尾 登 一

貴方 寒風 御発見の 陶器 は 方人の 言はれる 様に 陶器を 焼く時の 台に 使用
したの と思ひます が 早速 へ行くと その 様なものは 見當ります 孔があるといふ
のは 面を 滑ならざらしめる 爲に 持はせる 様な したもので せう 瓦の 面に 布目の 附
いて いるの なども 焼く時 には 翹着を防ぐ 爲に 必要 として いるもの ださうです
雲母を つかふ 様に なるて へ ぽりつ かぬ 様に したから 布で つ、あ 必要が
解消した 譯です 御 城 白 訂

拝 得 御 懇 書 有 難 儀 拝 見 仕 候 邑 久 の 石 器 第 三 卷 御 惠 贈 に 預 り 奉 謝 候
水 々 の 御 力 感 謝 の 至 り に 候 又 台 形 土 器 図 録 御 送 り 下 さ れ 拝 見 致 候 就 て は
右 用 途 御 尋 ね に 相 成 候 へ 共 確 たる 所 見 無 之 候 孔 に 針 を 立て る と 云 ぶ 方 法 は

× 窯道具ハセラハ製作ハ念ニ過ギ他ニ用途アリシモカト思ハレ孔ニ鉄針ヲ
 立テ其ニハ小陶器ヲシテ焼ク方法ニツイテハ窯業技術ニ関ル知識ナキハ不安
 = 感ビラ居ラレシガ現在ノ陶窯ニ使用シテ居ル所ガカルメハ古ク使用サレテ
 記録言傳ガアレバ流石ト斷定シテ長ト思ヒルハ富士夫ハ御教ヲ乞
 不前場ノ如キ術ヲ得ラレタ
 × 台形須惠器ノ用途ニツイテク暫ク断定ヲ留保シ疑問ノ須惠器ハシテ未解決
 ノマ、報告ニ語賢ノ御教ヲ御願ヒテシタク存ビマス
 昭和ノ九年 新嘗祭
 トキザネモクスイ


コシキ形須惠器(本城園)底面復原図 全



尖線 坑存部
 破線 缺失部
 斜線 胴部現存セルモ底部ニ達セズ
 四ツ所ツクニスキワ現存部ニヨリ推定セリ
 ノノ長径ノ畧ニ正確ニ近シ短径ノ破定ニキズ
 中央ニクスキアリシヤ否ヤ不明ナリ
 類品御所藏ノオ方ハ御教下サレセ

小さな管(内筒管)をさして焼くのに用いたものですが発見したのは薩摩の古代川窯
で幕末頃白磁の管を焼くのに用いました。この管は馬の口中にくわへさせるための
水筒から絹糸を取る時又ははっぱつ時に用いたものと言はれております。径三、四分長
二寸ほどの中空の白磁の管です。然しこれにあなたの発見されたものは違ふ一
は貫通孔一つは突起です。

①台の上面の小孔に鉄線を立てその上に陶器をのせて焼くといふことは古いものに
新しいものにも考へられせん。鉄を窯内の道具に用いることは絶対ありません。千度には
れば溶けて鉛の様になり流れて失ふます。

②焼台以外にも孔のあつておる台を用いた例を知りません。記傳もない様です。たゞ
鎌倉時代のセトのものに  内面に荒い筋を彫つたものがあります。おろし
に用いたもの。セトの窯址でも沢山発見されております。鎌倉海岸その他の一
遺蹟でも私が発見した事があります。大塚珍らしいもので私も何に用いたか
わかりませんが、焼く時の窯道具ではあるまゝと思ひます。何か別に独立の用途
のあつたものと思はれます。(後纂)

小山富士夫

其の後研究ニヨレバ台上の小孔ニ針ヲ立ルル必要ナク上面小孔ハ窯中ニテ陶器ノ
密着スルヲ防ギ難燃シ易カラシムルヲノモリナリ。(水原岩太郎氏談)
×台形須恵器ニ付スル諸家ノ説代表トシテ水原岩太郎。流尾益一
御城白切。赤枝小太治。小山富士夫。諸氏ノ説ヲ掲載ス。

オノノカマツト子

——台形須惠器——

×コノ図録ノ巻久郡長瀬村サヅカセ玉津村バガヤ美和村キメダニ圖
村ウラスナ、右窯跡、美和村大日堂発見、台形須惠器(実物大)圖ニテ
家藏品ヲフリケス

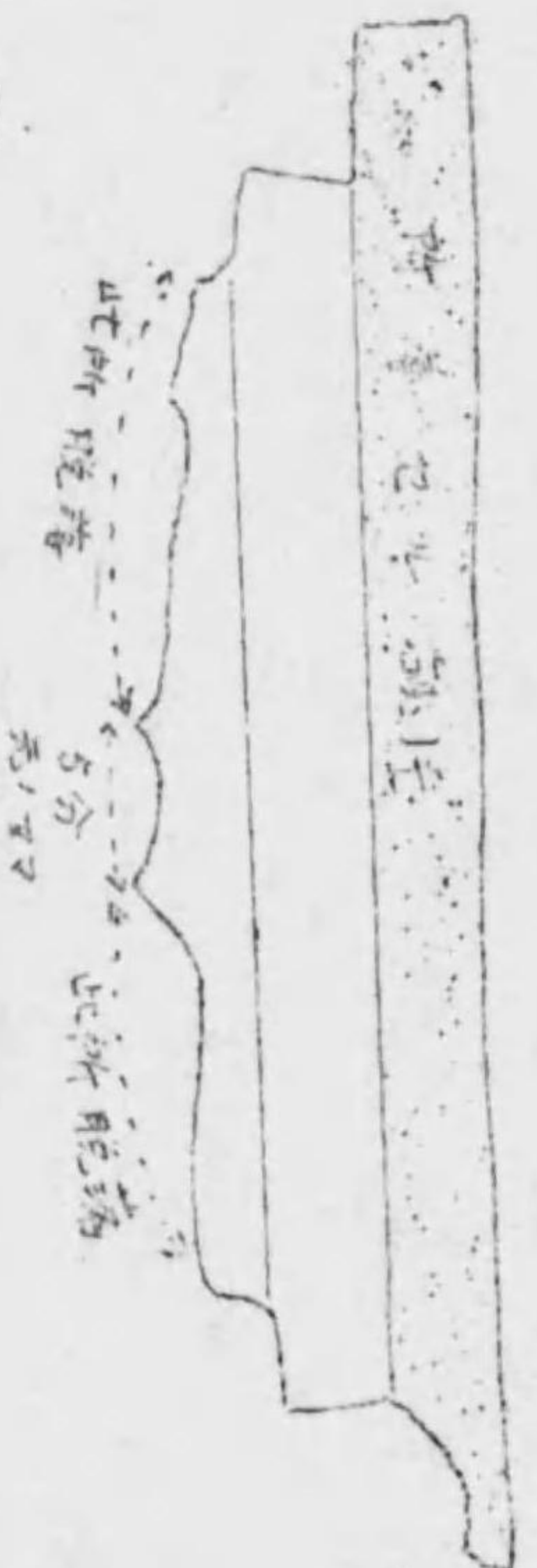
×コノ他=水原岩太郎氏藏品サヅカセ5/42窯跡発見ニ由、巻久村山内庄希
ノ由、(伊集忠志氏藏)サヅカセ5/48発見ノ由ナルモ、物略ニツキ、ナオ都窪郡山等
村跡前池奥窯跡ヨリモ一ニ由発見セラルル由(水原岩太郎氏教示)

×(1) ② ④ノ略和クキ5月5日バガセ、窯跡発見 (1) ④ノ略和8年4月3日
ツカセ5/99窯跡発見ニテ、其際年底破片ト思召ルモ、昭和10年1月27日
ツカセ遺跡ニテ(1) ④ノモノ発見セリヨリ注意シハバ(2)ノ発見ニヨリ、全形
ヲ知ルヲ得タリ、チツルガ、コレヲ発見サレシヨ日以後ニシテ、上面ニ白磁釉ヲフリ
孔ニ先付カズ、陶材骨、脚ノ履座セルト認認シ、其後水洗ハ條(1)ノ製品ナル
コトヲ知ルヲ得シツル。此レオノ小孔ナル平坦面ツ上ニシテ使用セル台ナラシ
思ヒルニミテ、ソノ小孔ハ何ノツカカヤ知ラズ、窯道具ナラハ思ヒ及バズ、其後水原
氏ヨリ焼各ナラシト御教示アリ、流尾氏談ヲ傳聞シ、流尾氏ニ御教示ヲ乞フ、別項
所載ノ年表ヲ得テ、須惠器焼成、條使用ル各^{別項}ナリ得シツリケス、以來數
品次ニ発見セリ、諸家ニ質スニホカス、流尾氏ノ意見ニ賛成セラルル人カ多シ、チツルガ、
×現在ノ伊那及虫明、陶窯ニ於テ種ノ台ヲ使用シ、器中ニツ形ノ類々セルノ
モ上面ニ小孔ナルモノカケニ。

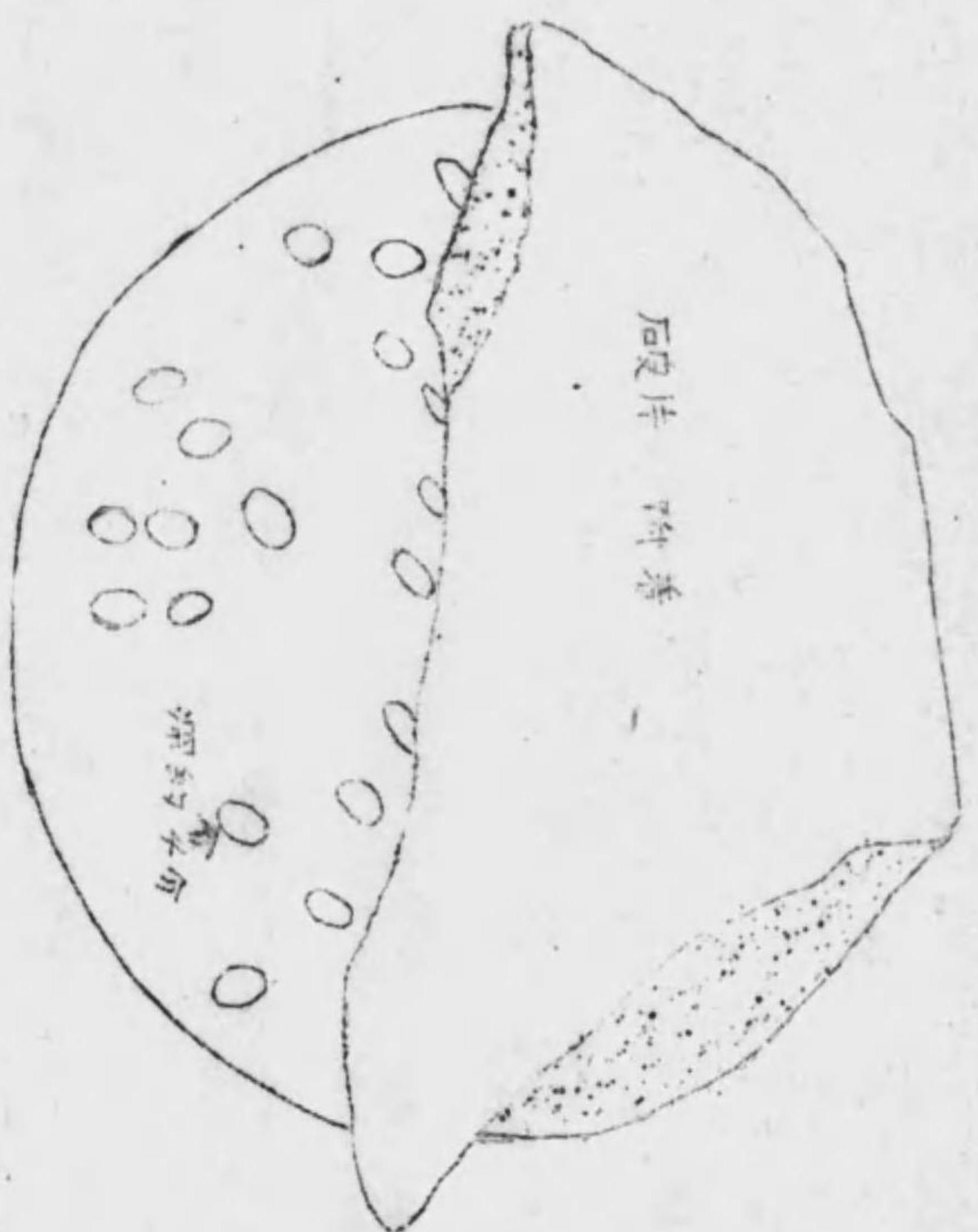
×兩津、堂ニテ上面ニ小孔ナル台ヲ使用セル由ヲキキ、吉田壽三氏ニ調査ヲ請
イ、例ニツキ、形ノ類々セルモ上面ノ小孔ノキ由ヲフリケス。

×現在ノコノ圖録、ゴトキ各ヲ使用セル陶窯ニ御存知、御方ノ御教示下サシ。

×(1) ④上面ニキ以上破片付着シ、緑色白磁釉上面全部ニマリ、小孔ノ楕圓形ヲ
ル、コノハミレニヤヨイ式ニ器底部ニ足ニ跡ニヤキニナルガ、製作ノ條忠實ヲ刺シ

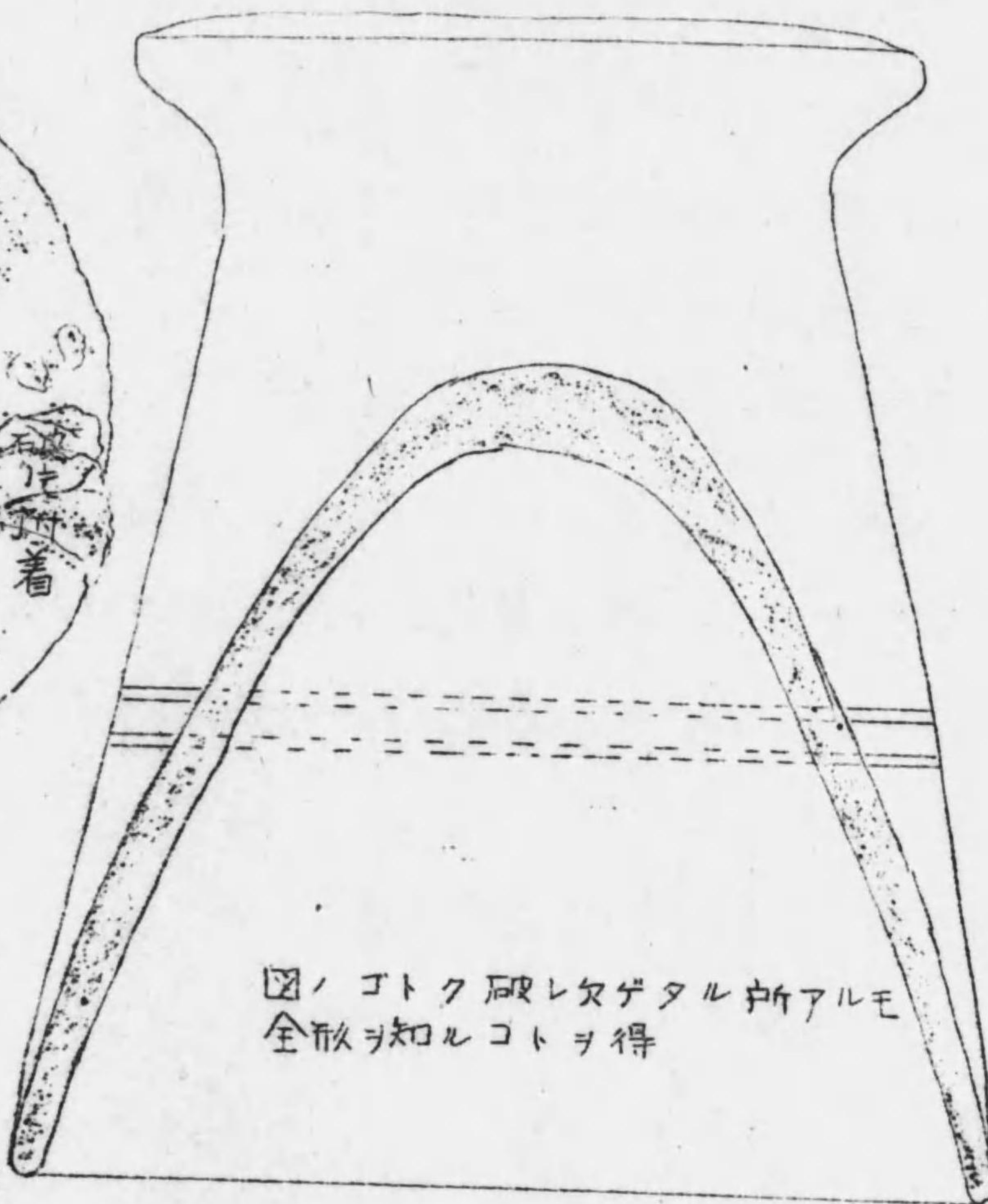


①



不ツベ3700 昭和10.1.29. ナガハマムラ. サブカゼ. 5148 出土
 ンホトキ. カヘイ形ノ小孔アリ. 最も深キモノ約々分. 全面(エ)ミドリ色
 ノ自然釉アリ. 浅クナリシモノゴトシ. モトヨリ深キモノト浅キ
 モノアリ. 一定セザリシモノノゴトシ.

①

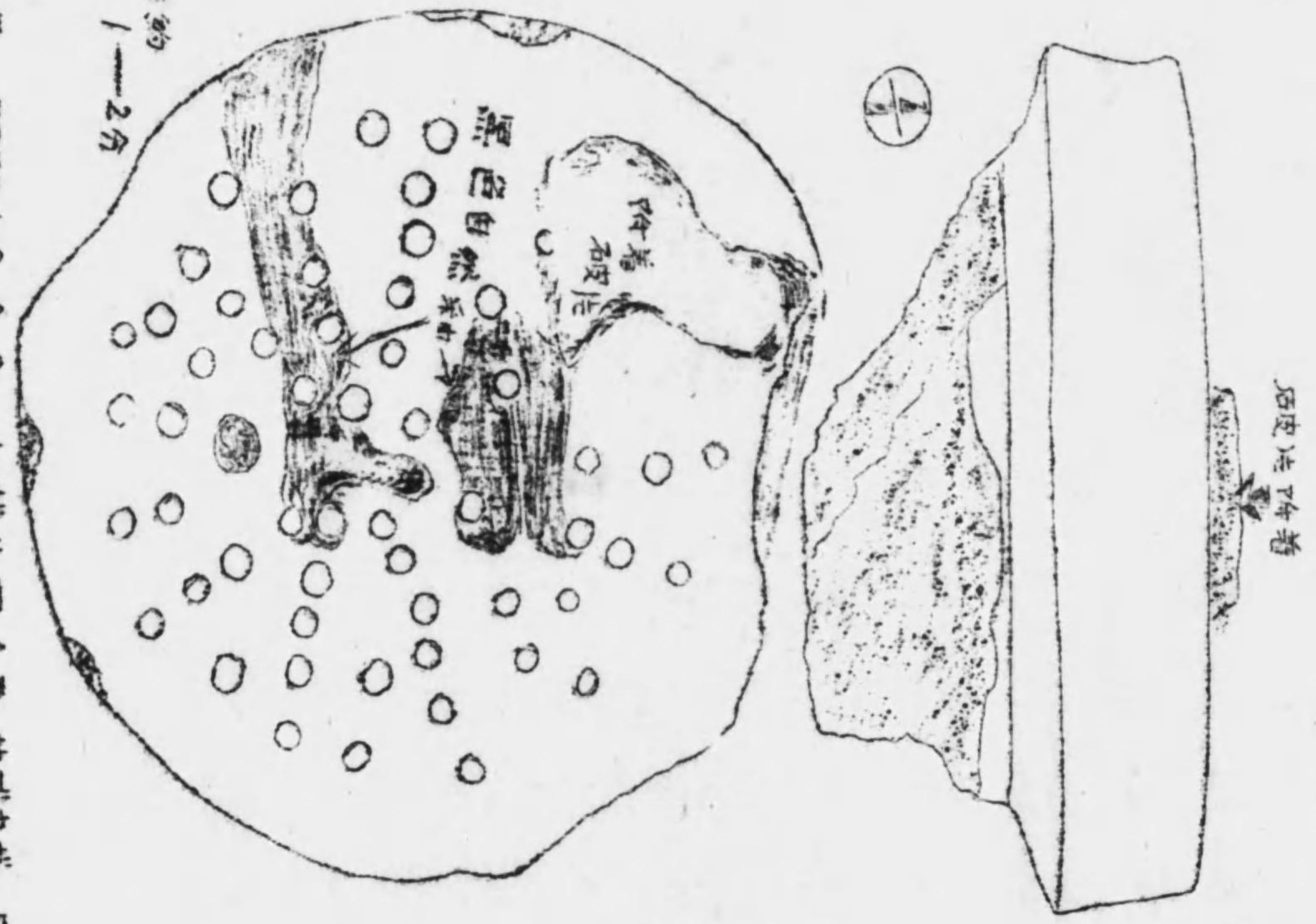


イツベ404 昭和10.2.7.
 ナガハマラサブカセ.5148号見
 宗時勇一氏寄贈
 上面一帯暗緑自然釉アリ小孔マ
 ツノ下ニカクレシカ数ヲ見ユルマ

図ノゴトク破レタゲタル所アルモ
 全形ヲ知ルコトヲ得

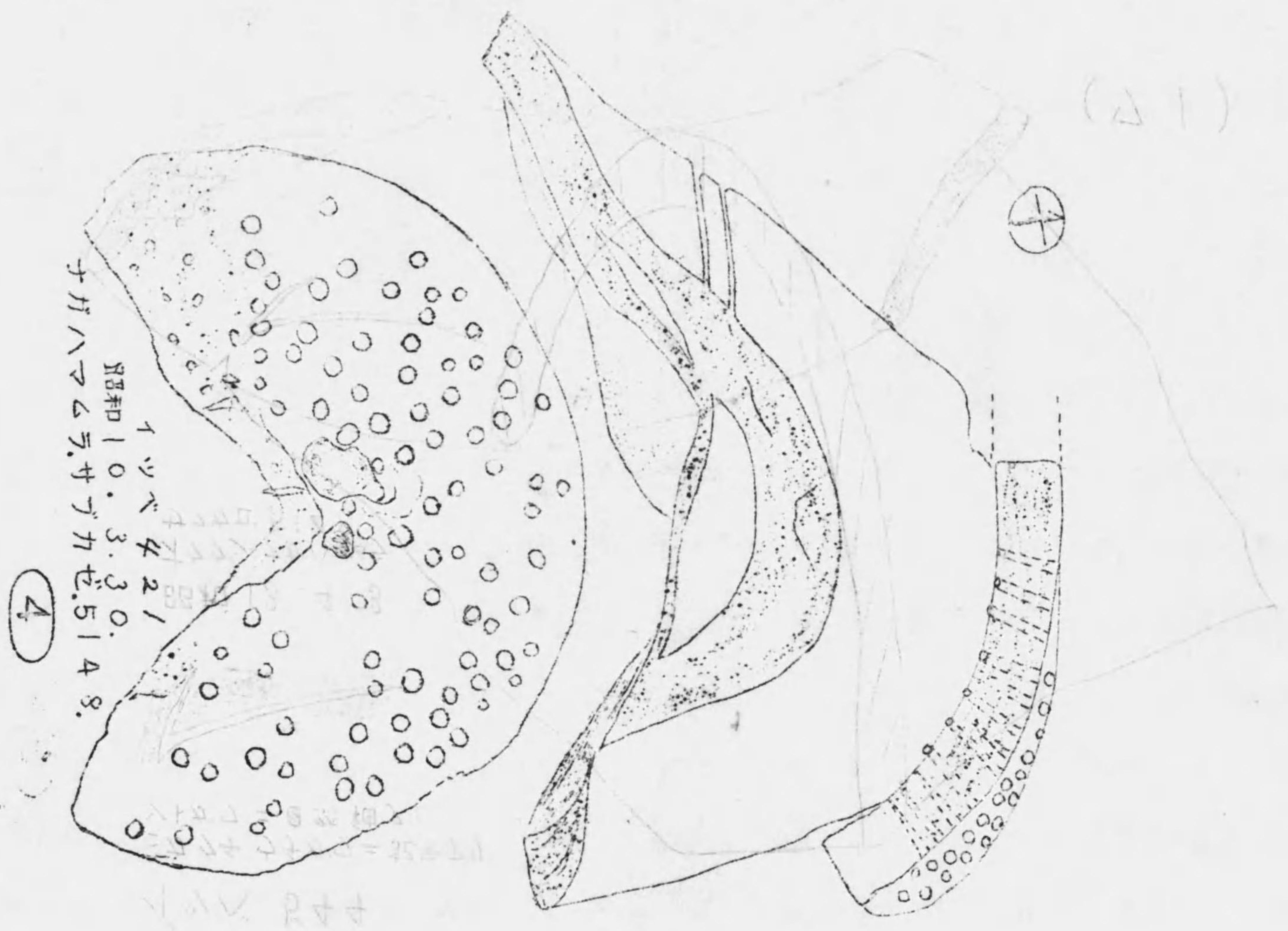
2

カウカウ
 ナカクハナ
 葉ノ一節
 葉ノ一節
 ナカクハナ
 ナカクハナ



孔ノ深サ約
 1—2分

イウハ405 昭和10.2.9. ナガハマ 3 サガカゼ. 5148



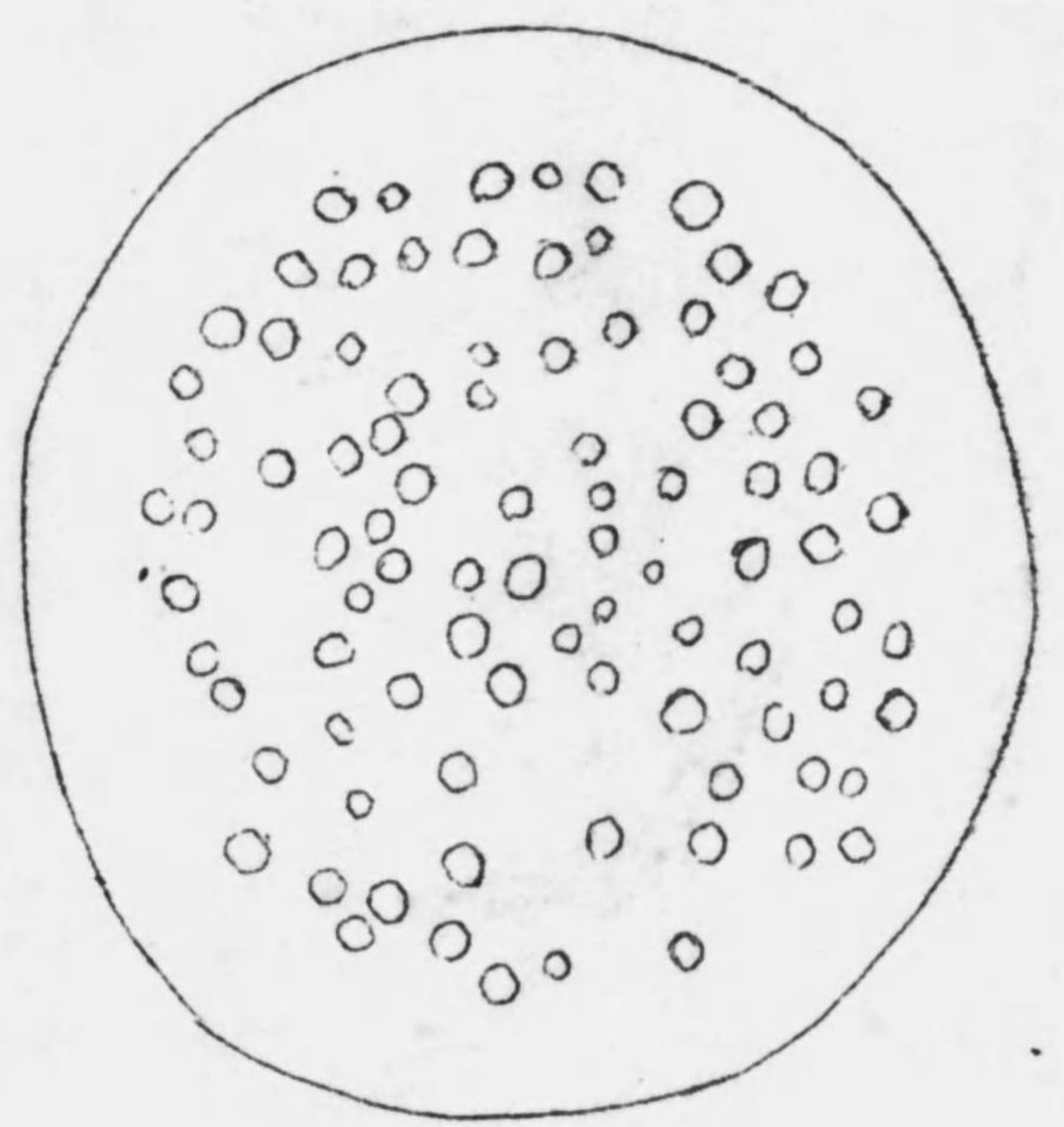
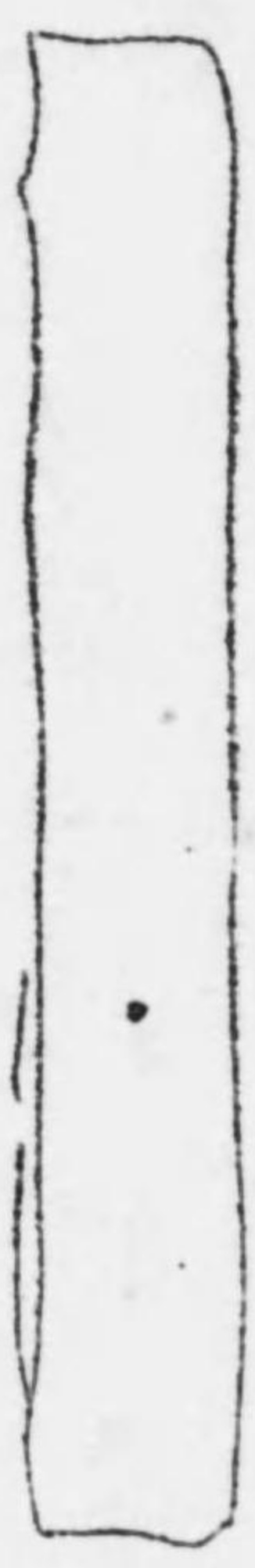
イッベ 4 2 1
 昭和 10. 3. 30.
 ナガハマラサガゼ. 5 1 4 8.

4

(11)

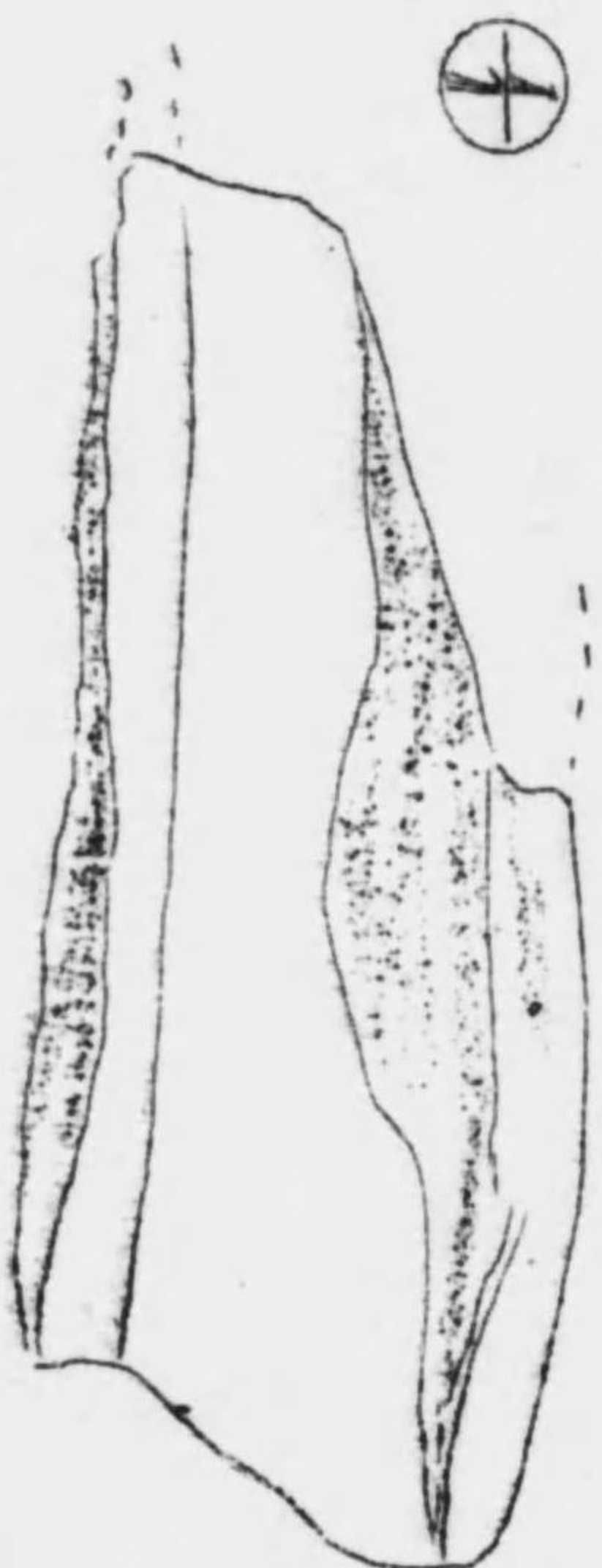
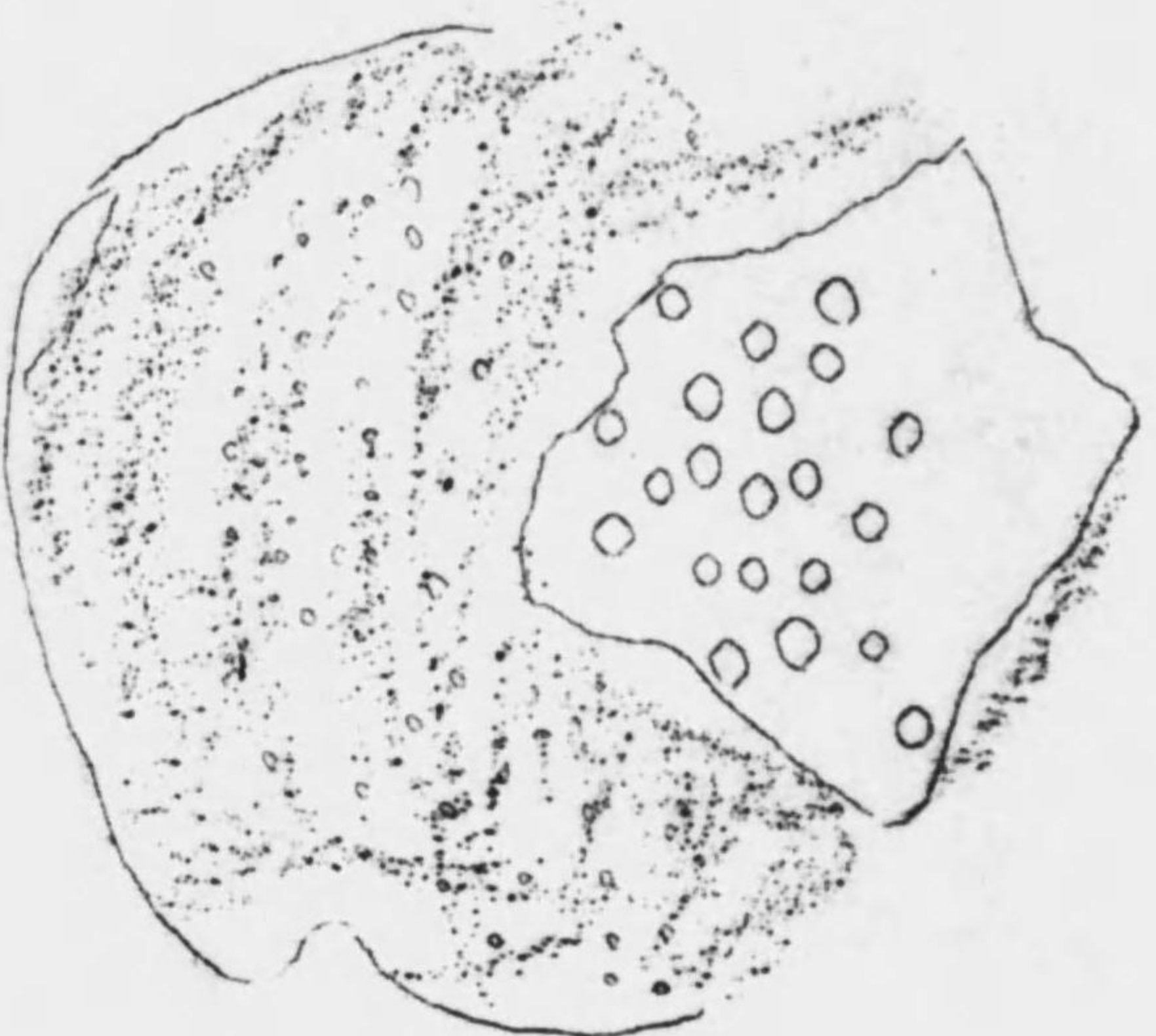
Yok R44

(14)



ヤツベ 422 昭和 10.3.30 ナガハマニ. サヅカゼ. 5148 出 止

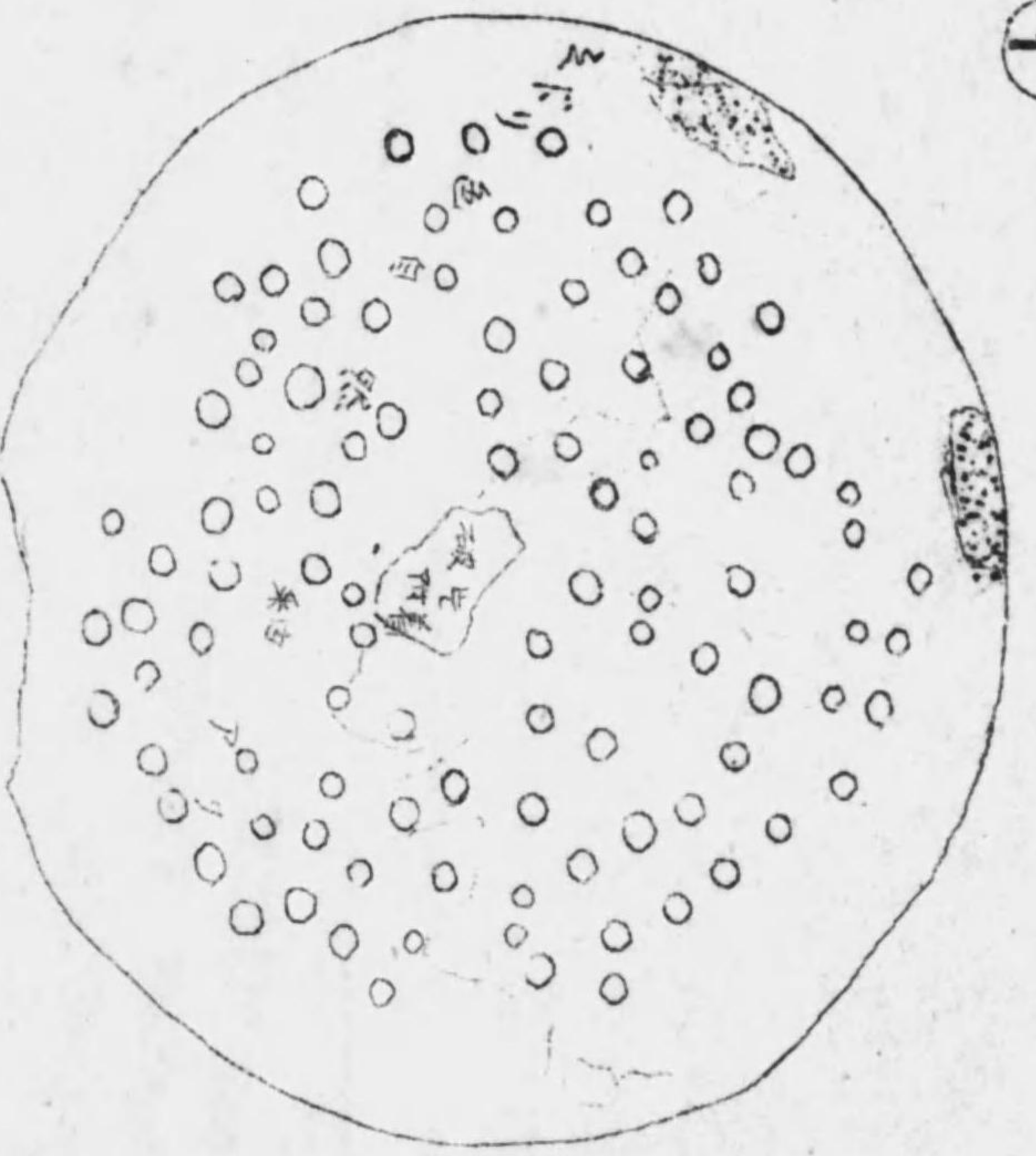
5



1924 昭和10.6.23 ナガハラス. サザカゼ. 5145世

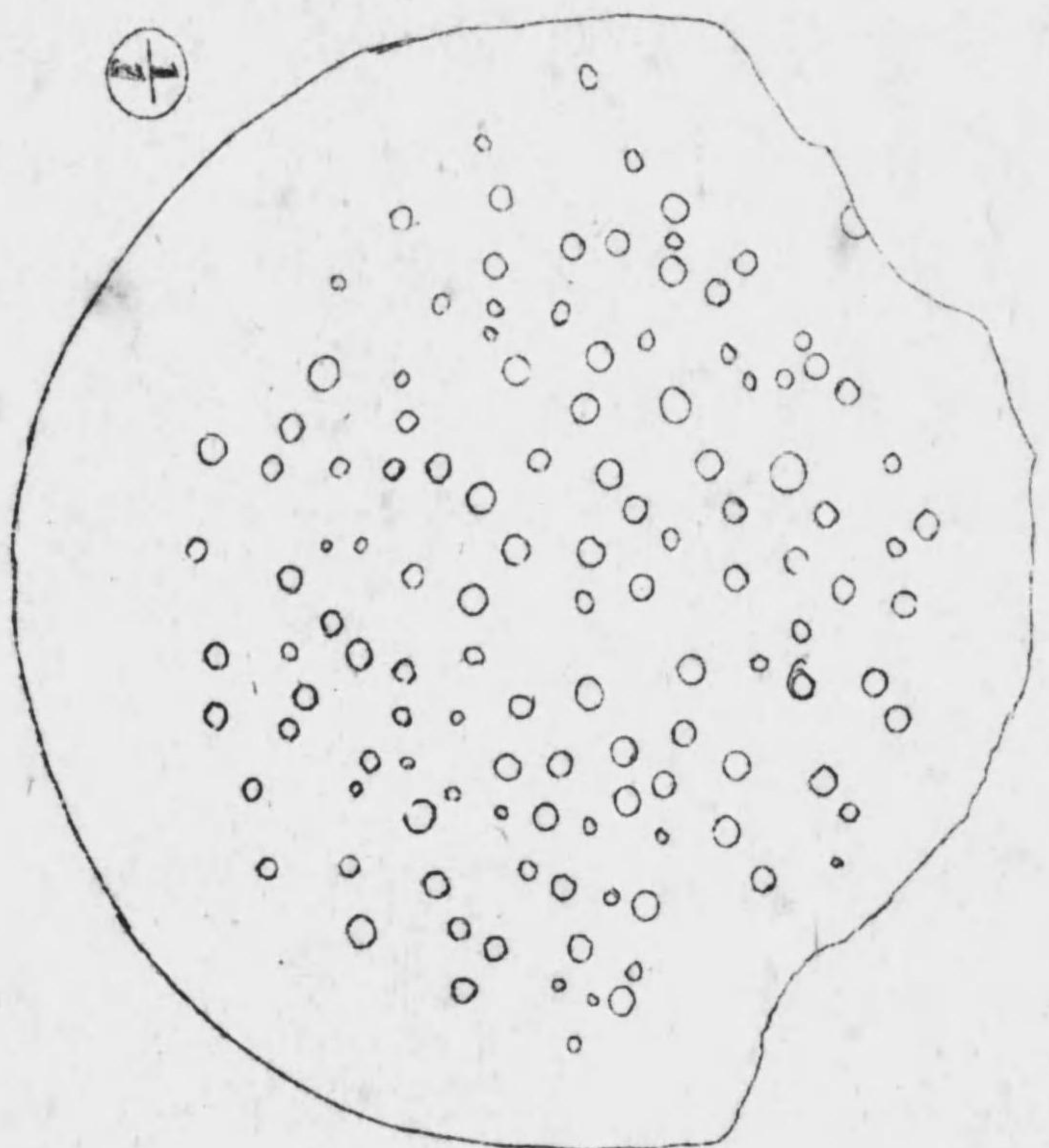
6

脱着セル痕跡アリ



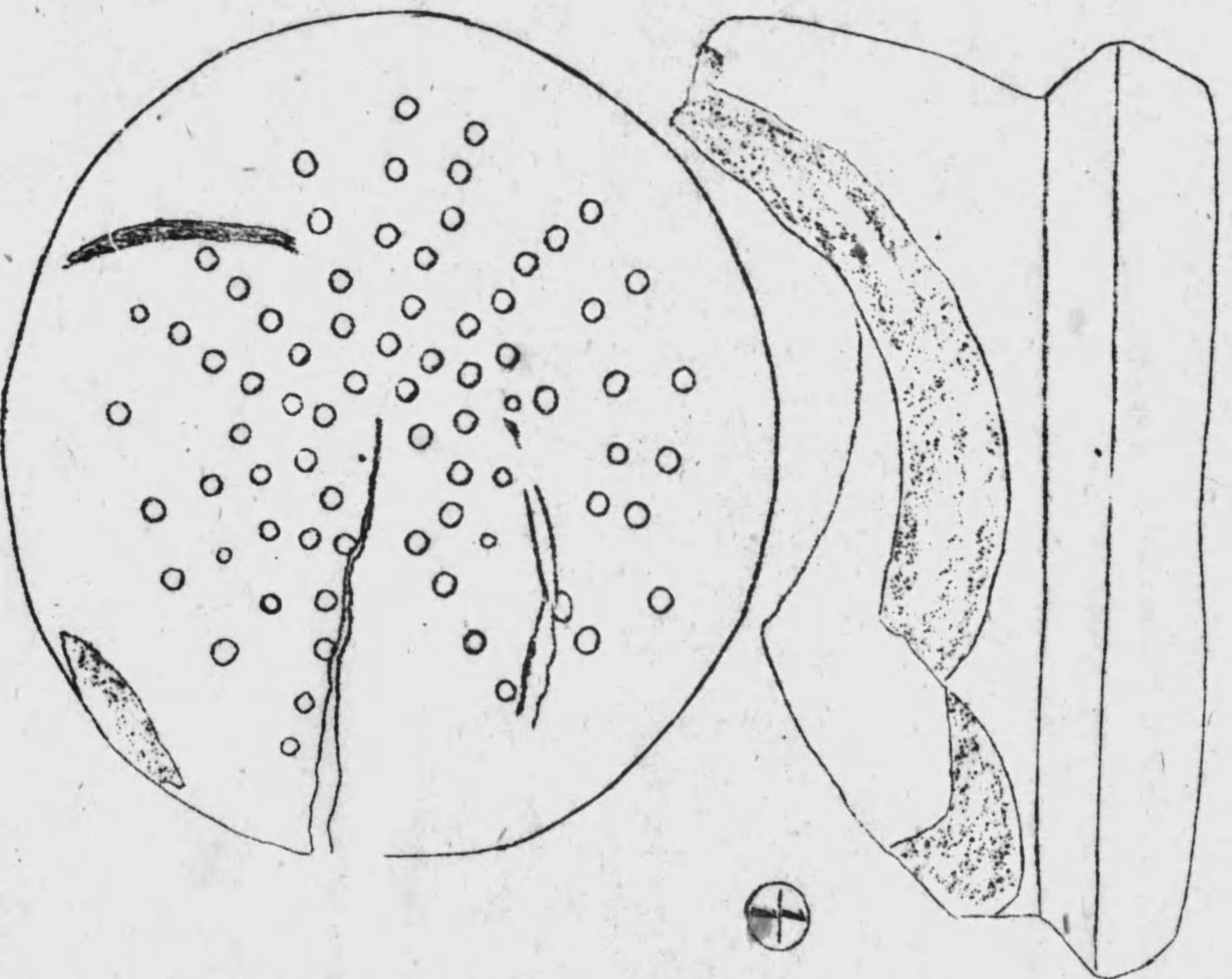
イウベ461 昭和11.2.3 ナガハマラ. サガカ世. 5148.

7



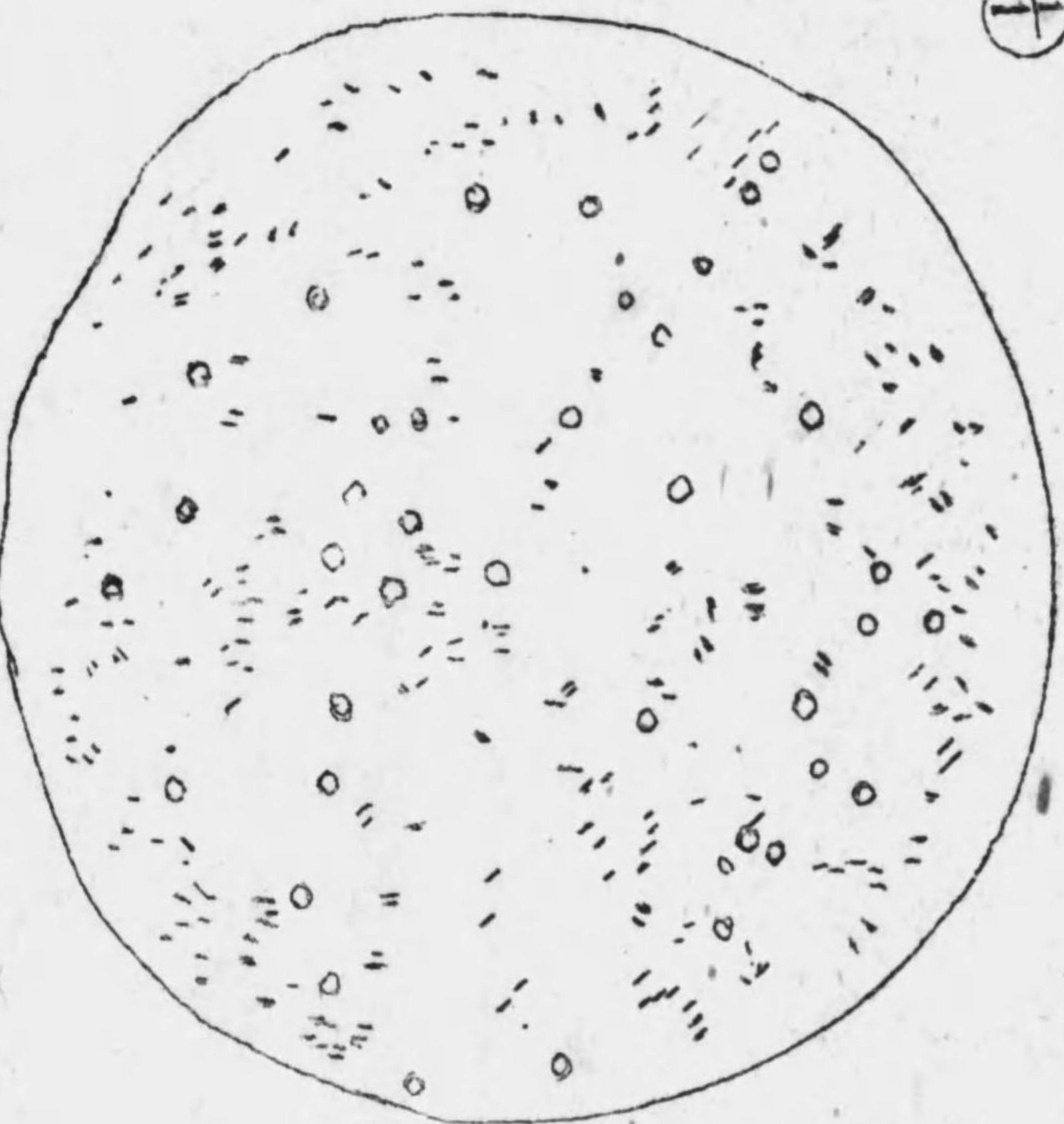
176 566 昭和 / 3. 10. 3. ナガハマムラサキカゼ 5 / 39.
 地下約3尺

8

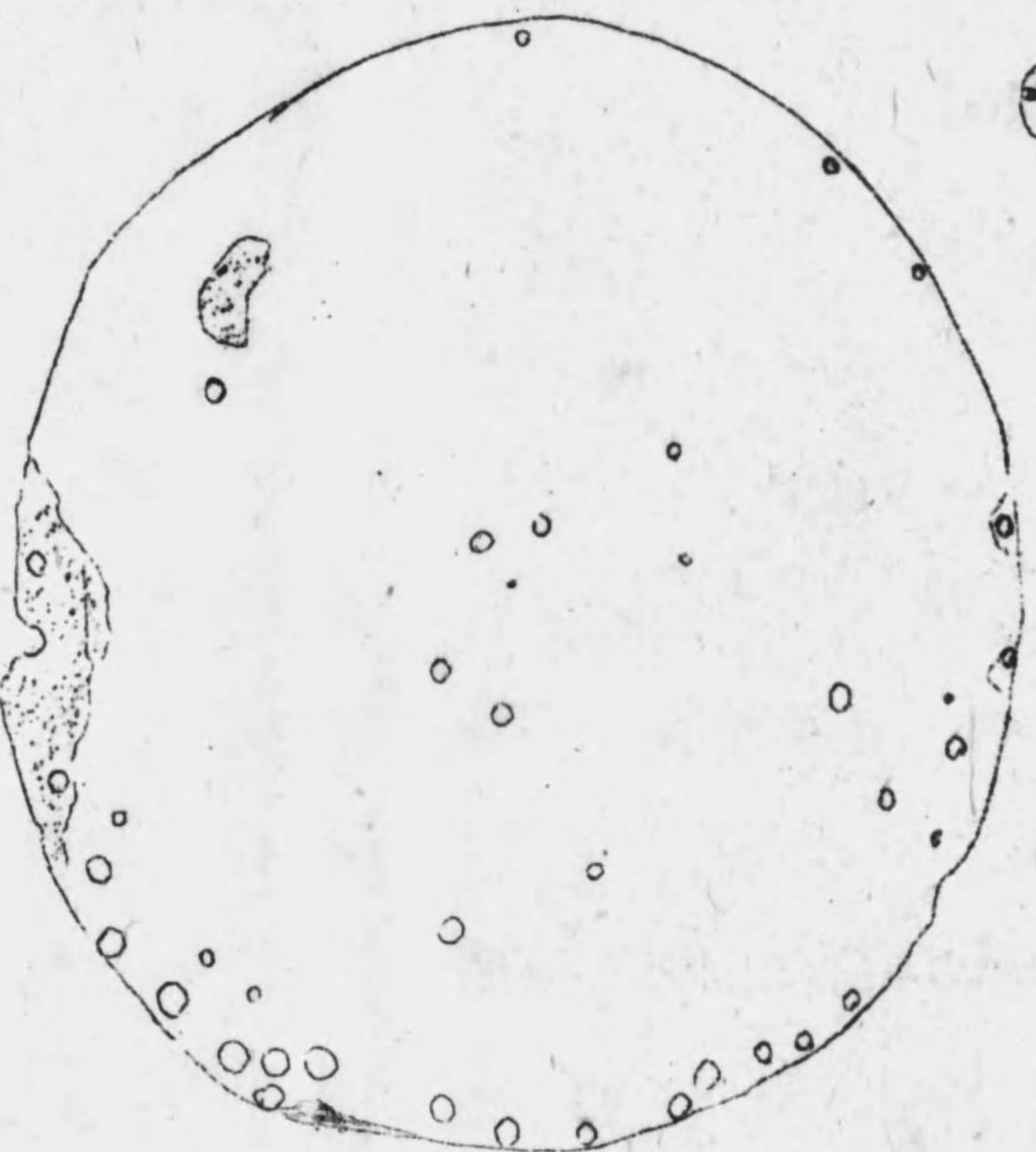


イツベ 623 昭和14.10.6.ナガハマラ.サヅカゼ.5139.
 地表下約4尺5寸

9

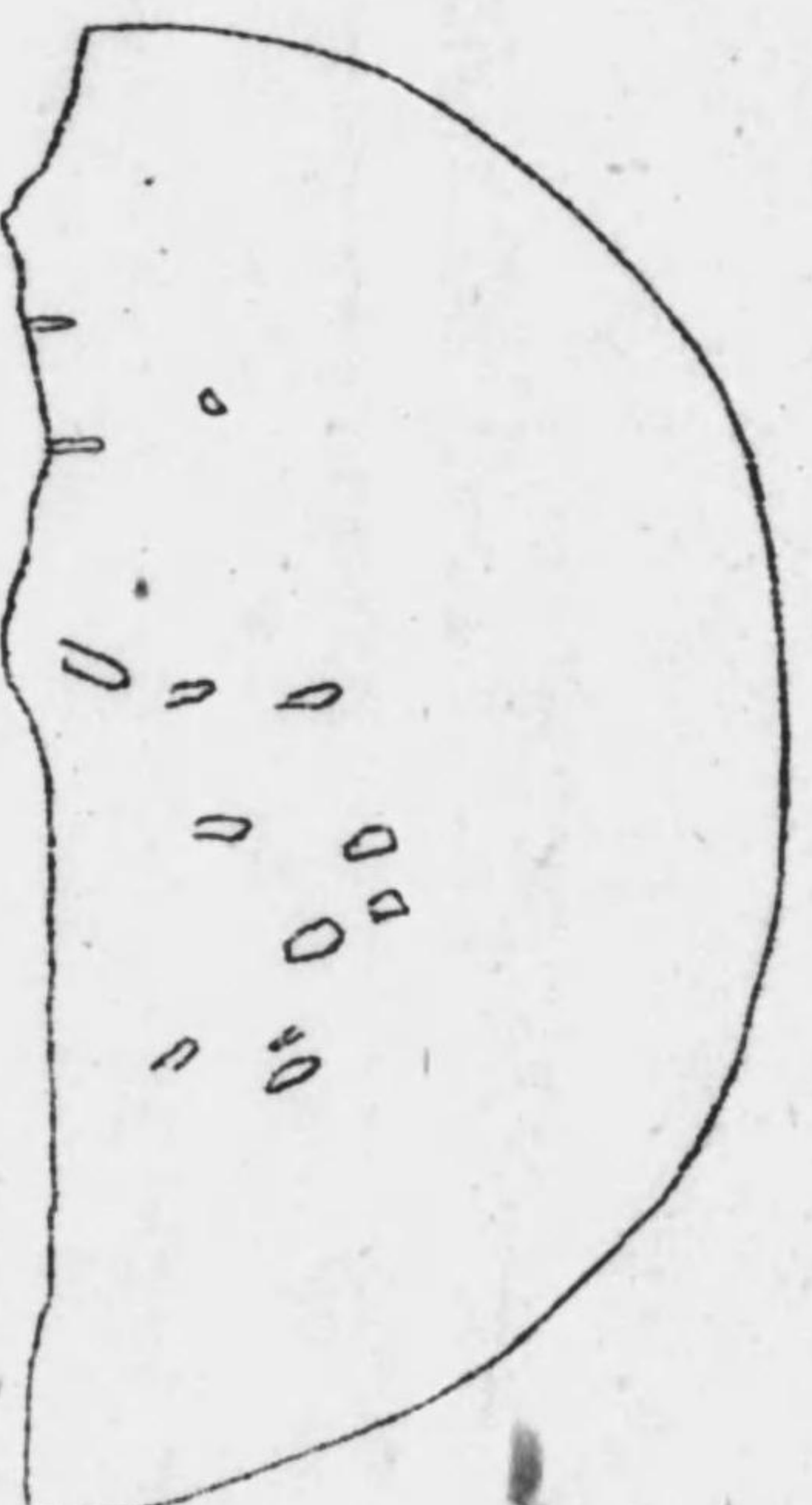


イウベ547 昭和13.4.3. ナガハマムラ. サヅカゼ. 5139. 地下約1.3
 上図ノモノヲ〇ニテ系スル孔ノ他ノト同ジク...ニテ系スモノヲササラノゴトキモ
 ニテツキタルガゴトキ 淺キ小 痕ナリ。

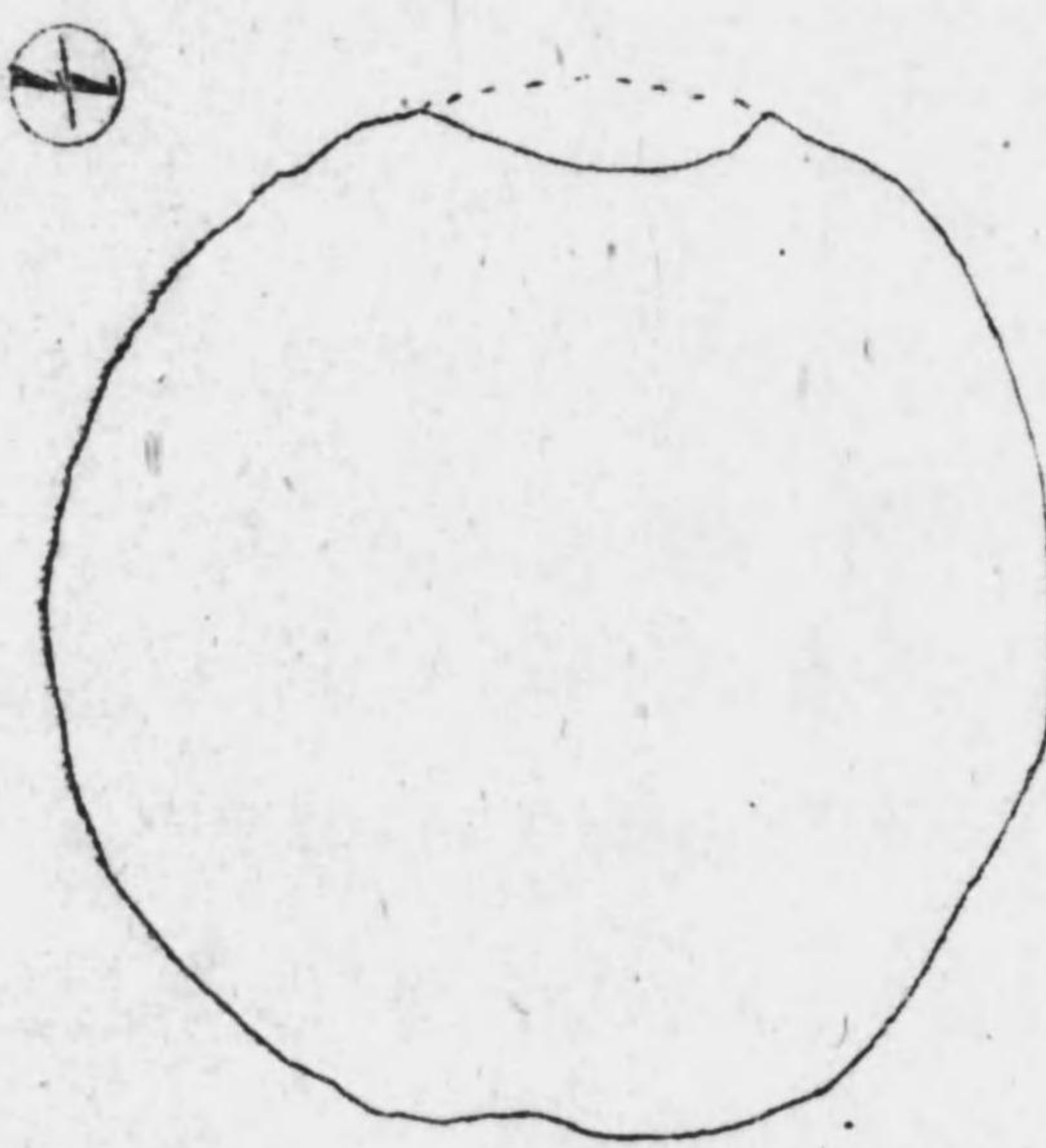


イッペ/89 昭和8.4.3. ナガハマムラ. サウカゼ. 5139.
小孔ノ数少シ. アルイコ后ニ消レタルカトモ鬼ツルルモ明カナラズ

11



昭和7.5.15. タマツムラ. バカセ
コノ図ノモノヲ小孔ノ数少ク孔ノ長イ所ガ他ト異ル.



イツベ517
ミツム5.ニシスエ.
キタタニ出上
昭和7.12.29.

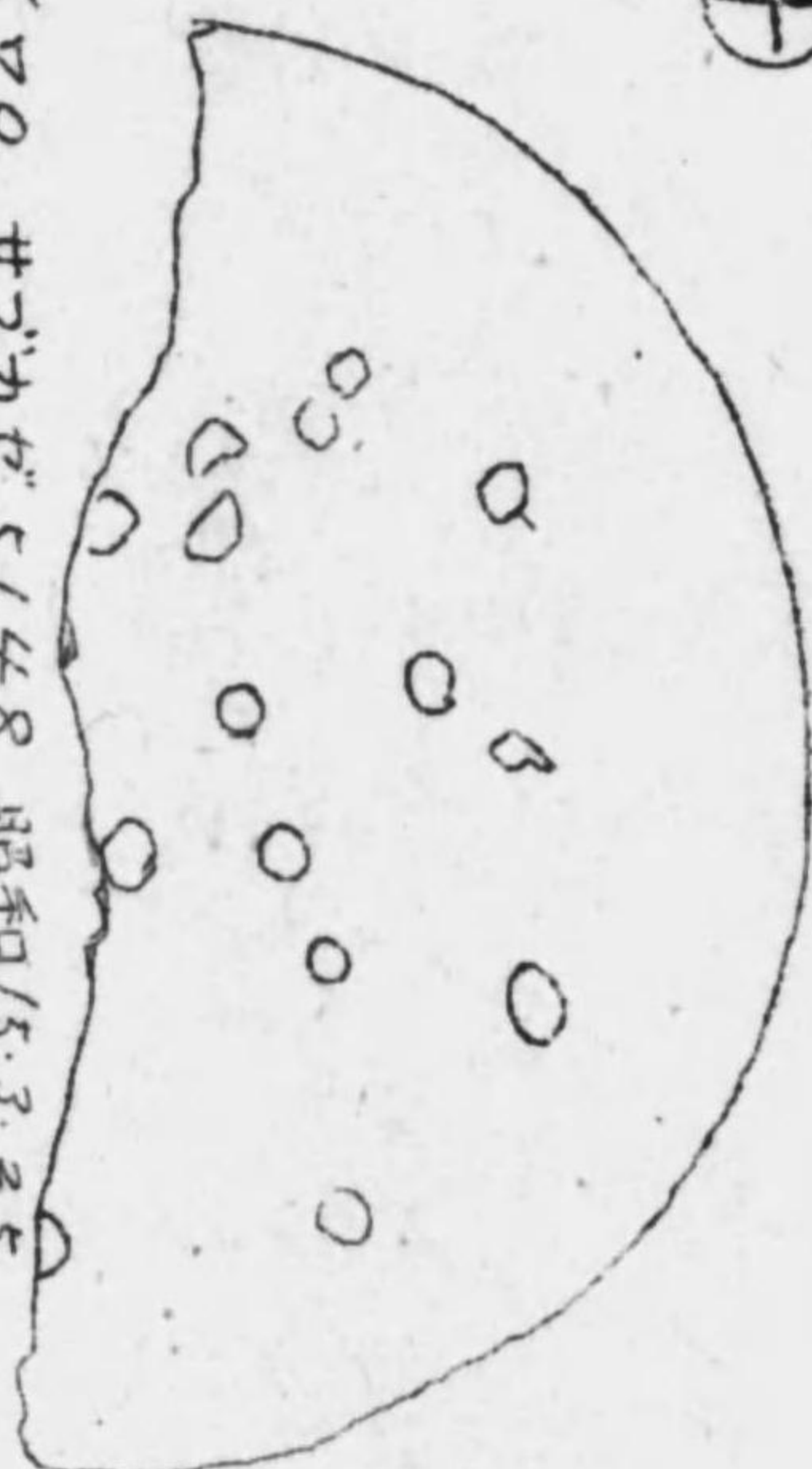
正田武雄氏寄贈

小孳ナシ

13



+



イッペ670 サジカゼ5/48 昭和/5.3.25
京時 勇一 氏 寄 貝 首



+

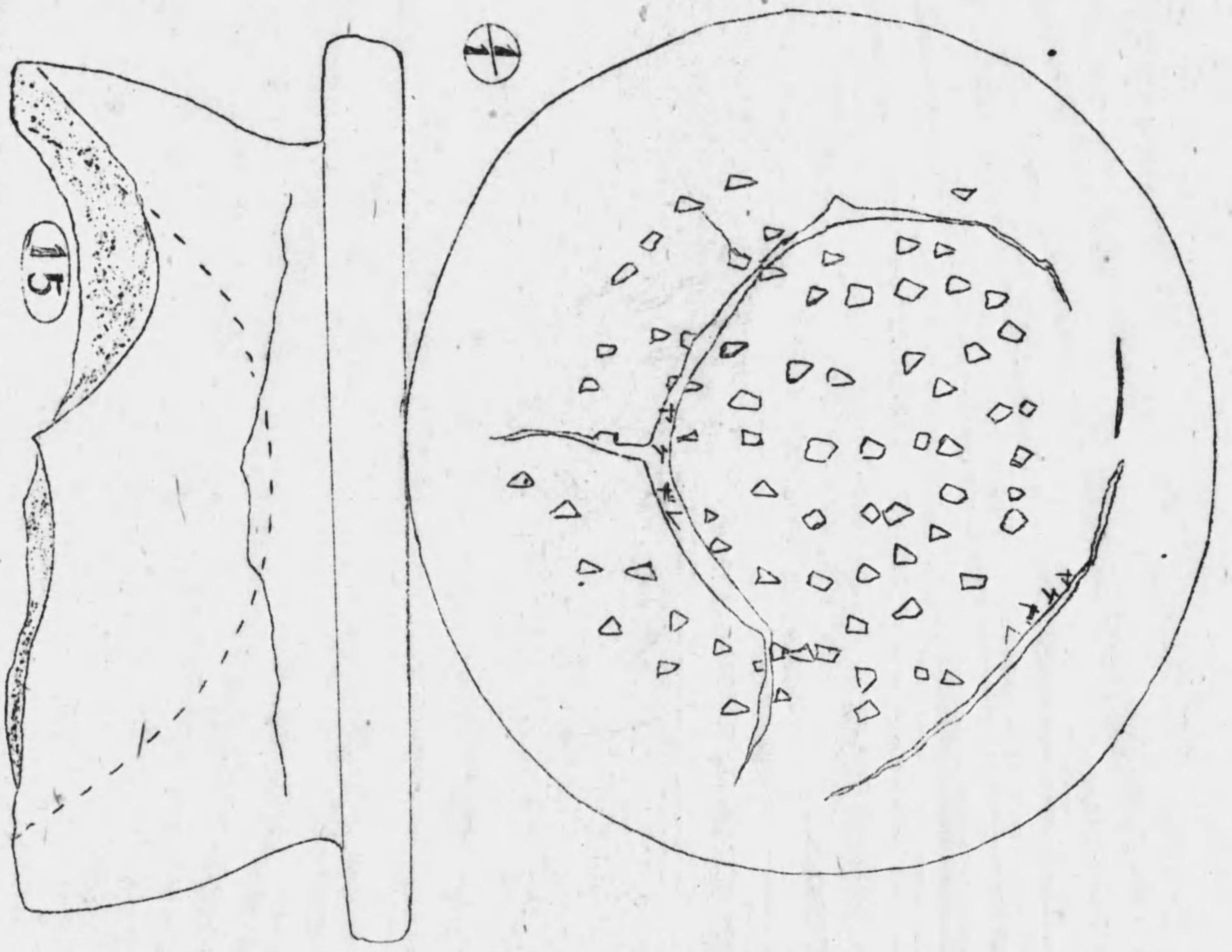


イッペ527

コクナラ ヤマダ
ウダナチ

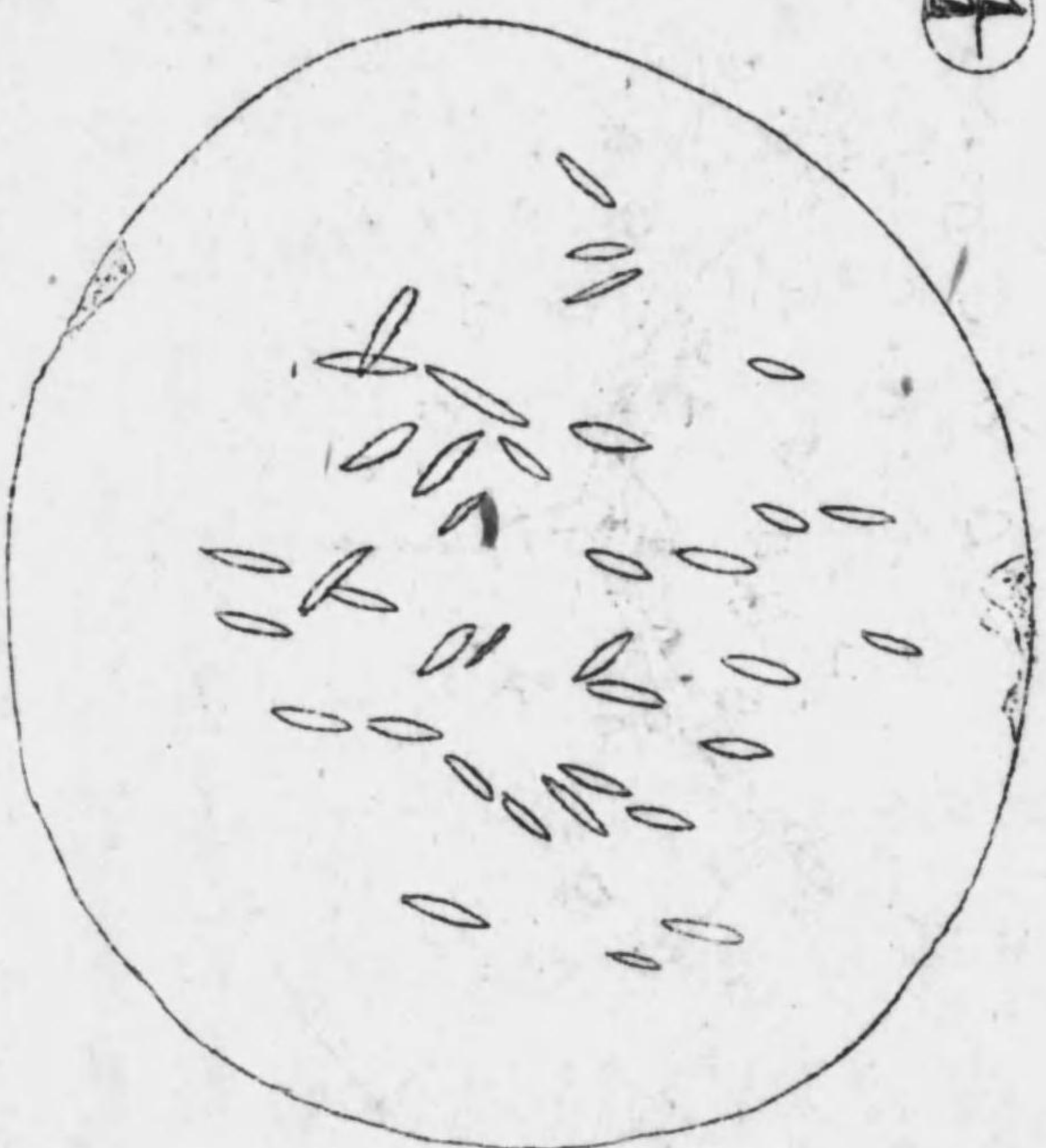
14

174685 昭和15.4.3. ナガハラス. ナガハ 5139 地下約 3m





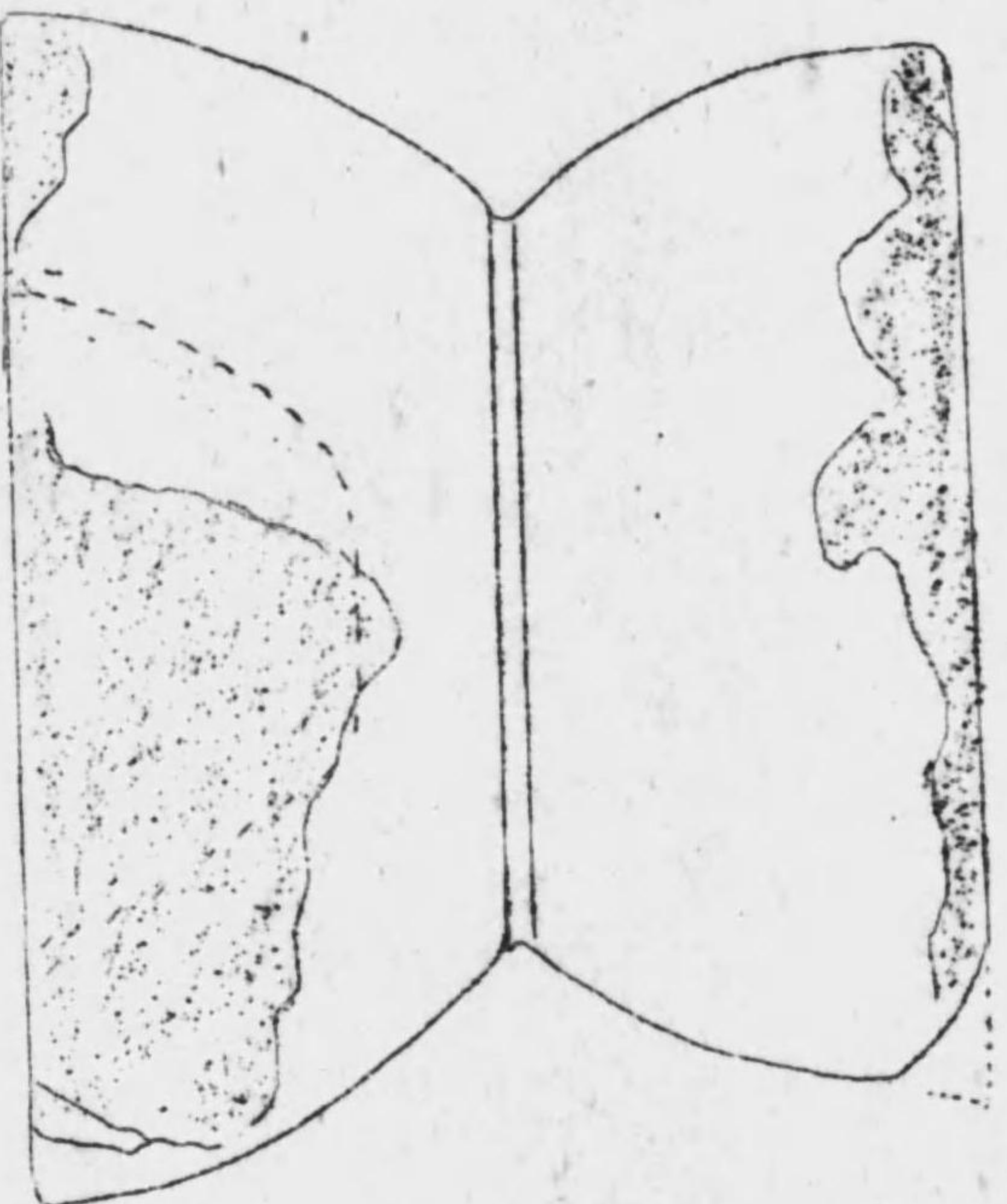
+



イツベラ
コノ
ガゴト
キ
浅
キ
痕
ナル
コ
他
ノ
モ
ト
ハ
ガ
セ
出
土
ニ
チ
ハ
ナ
リ
森
隆
氏
寄
贈

16

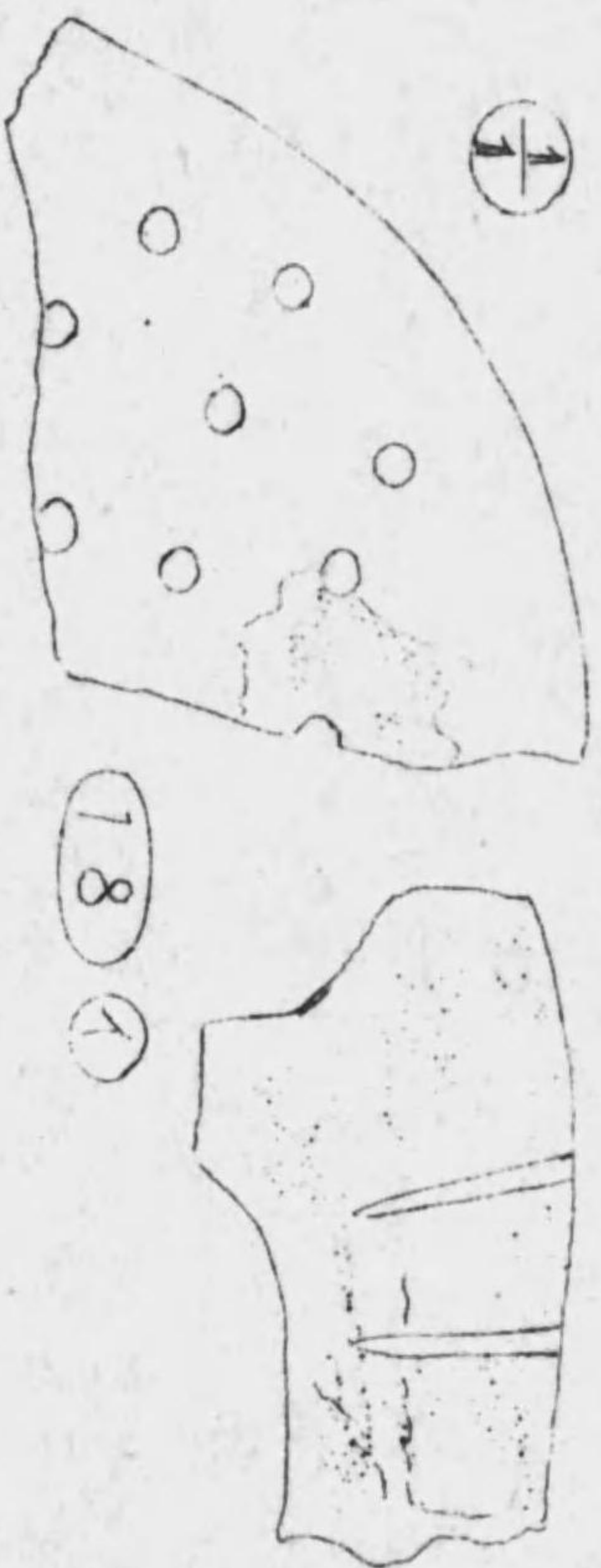
①



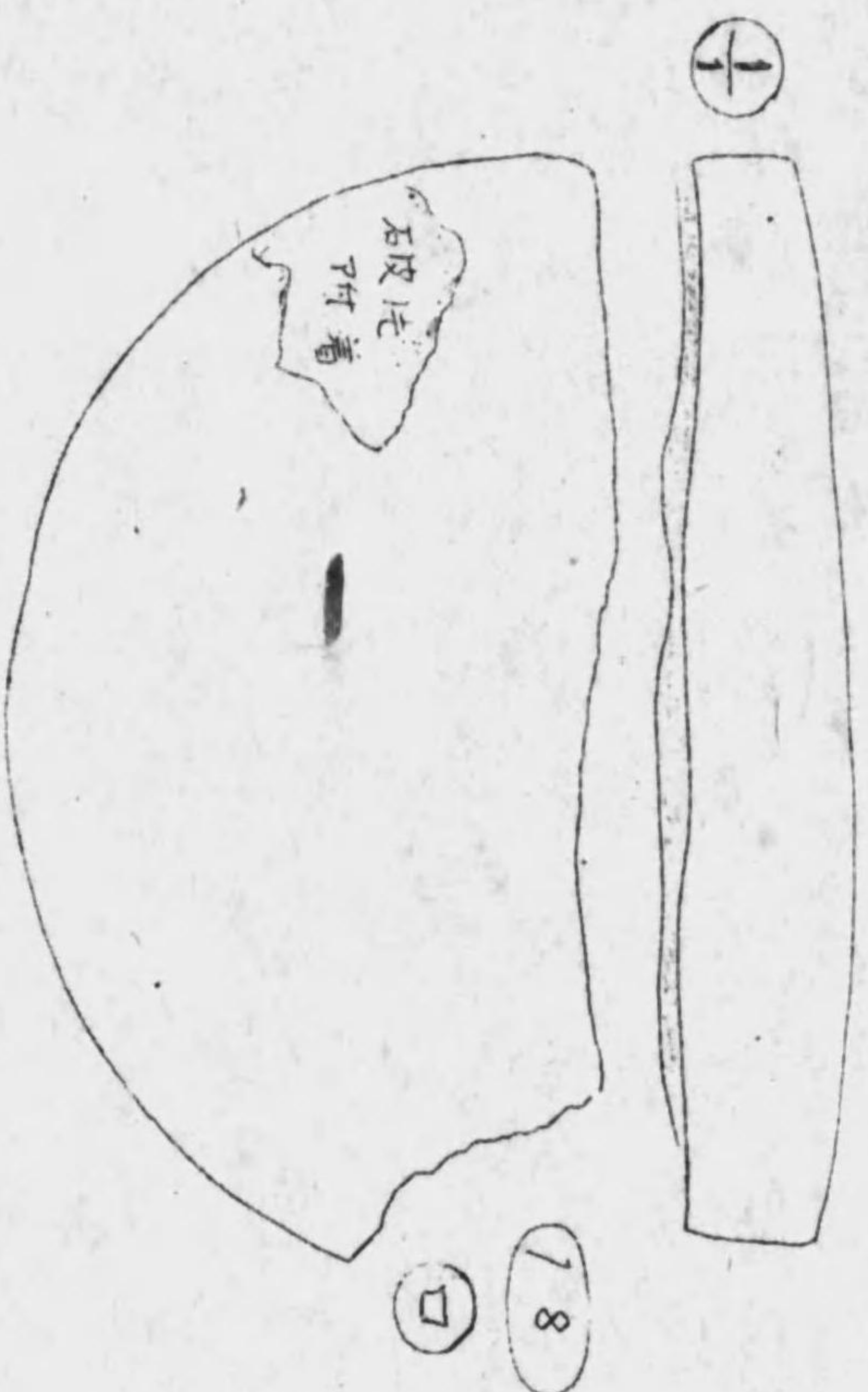
イッペ525
ミウムラニシスエ 大日堂附近発見
昭和11.2.29 正田武雄氏寄贈

上面ハ孔ナシ.底面深約ノ寸径約ノ寸分グリ又キアリ.
年代ヤヤ下レルモノナラシカトオモワル

17



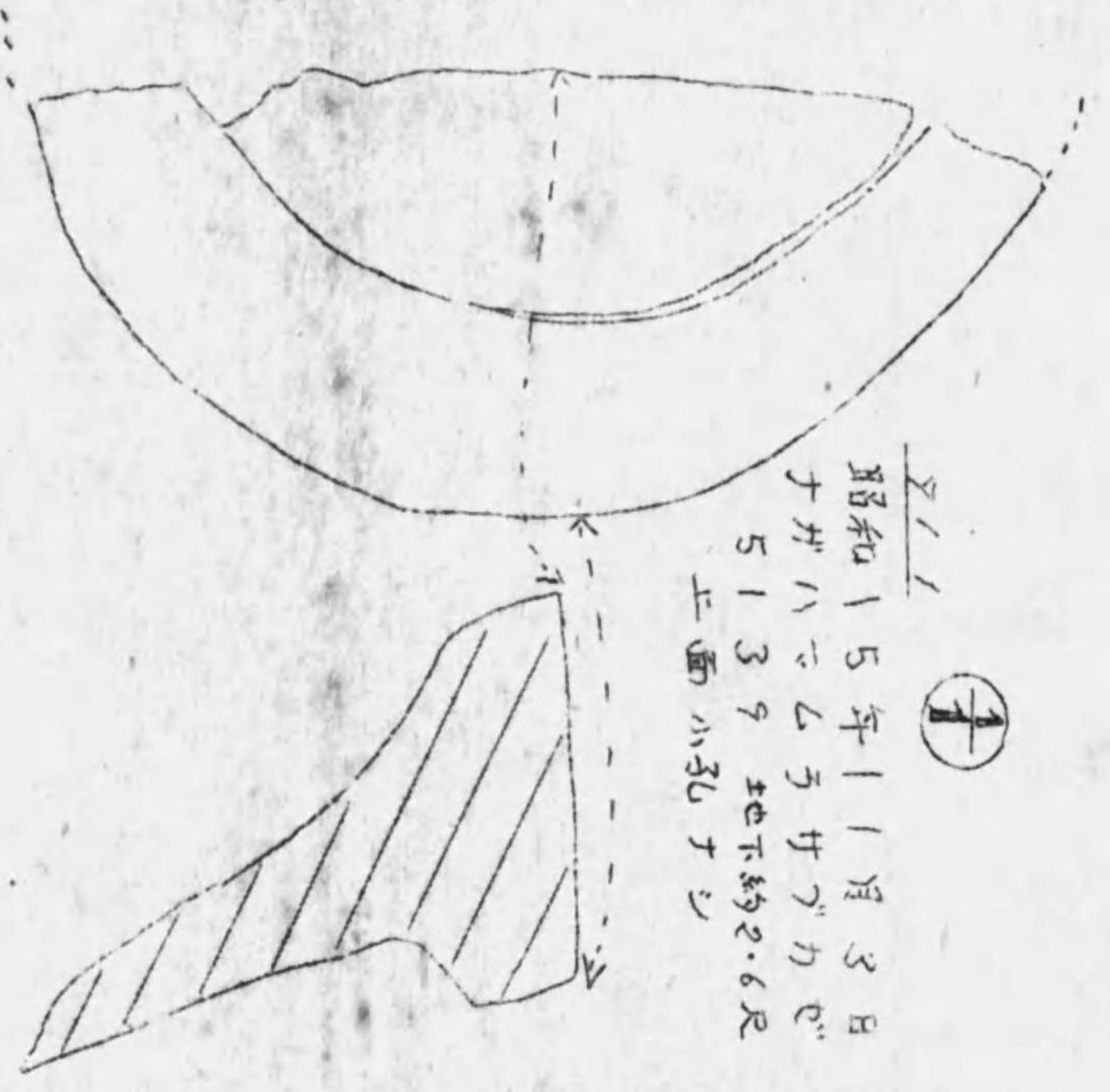
昭和18.10.13. ナガハマムラ. サブカゼ. 5148
 発掘堆積シマリシ破片中ヨリ検出.



ナガハマムラ. サブカゼ. 5148
 ナガベ. 463. ナガハマムラ. サブカゼ. 5148
 京時勇一氏寄贈。上面全体暗緑自然釉。小孔ナシ

00
20

昭和十五年一月三日
 ナガハラム地下約2.6尺
 513 上面小孔ナシ



| | | | |
|-----|-------|----|-----|
| 編者 | 岡山縣 | 久郡 | 長浜村 |
| 発行人 | 434 | 8月 | 16日 |
| 印刷 | 昭和14年 | 9月 | 8日 |
| 発行所 | 岡山縣 | 久郡 | 長浜村 |
| カ | 434 | 8月 | 16日 |
| リ | エ | キ | ヤ |
| カ | ホ | カ | カ |

大正憲法 3 第 1 章 第 1 節

